

研究課題名	膝関節靭帯再建術の術前評価と術中所見が術後成績に与える影響
研究期間	実施許可日 ～ 2027年 3月 31日
研究の対象	2018年4月1日から2026年3月31日までの間に、本院整形外科外来を受診された膝関節不安定性を認める症例を対象とします。
研究の目的・方法	研究目的：近年スポーツ人口の増加に伴い、膝関節の靭帯損傷は増加しております。しかし、その最適な治療方法はいまだ確立されておられません。これらの状況から、手術前や手術中の各種検査所見に基づいた確実な治療方法の確立が望まれています。本研究では、膝不安定性に対する術前のレントゲンやMRI、CT検査などの画像検査、さらに器機や徒手での膝関節不安定性測定所見から膝の特徴を詳しく観察し、最良な治療法の確立を目指します。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを使用します。
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、罹患肢、スポーツ種目、スポーツ活動性、以前の膝手術歴、各種主観的臨床スコア（膝の状態のアンケート）、膝不安定性計測の結果、症状発生から手術までの期間、膝関節可動域、術後経過観察期間、内側半月板損傷と処置方法、外側半月板損傷と処置方法、靭帯再建術式と術中再建靭帯の挙動、術中ナビゲーションシステムによる膝安定性数値、術前・術後の膝CT/MRI/レントゲン所見、術後2年抜釘時関節鏡所見（再建靭帯、半月板、軟骨の状態）です（個人が特定できる情報は転記しません）。
外部への試料・情報の提供	広島大学単独での研究のため外部への提供はありません
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日（2018年5月23日）以降
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。 個人情報に立ち返るための対応表は、本院の研究責任者の監督の下、個人情報管理者が保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科整形外科学 教授 安達 伸生
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究

の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 整形外科

担当者：准教授 中前 敦雄

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5231